

京都混声合唱団創立75周年記念演奏会

オラトリオ

Messiah

G.F.ヘンデル

2000年9月2日(土) P.M. 2:00 開場 2:30 開演
京都コンサートホール 大ホール

主催 京都混声合唱団
後援 京都市・(財)京都市芸術文化協会・京都府合唱連盟
マネージメント (財)京都市文化ホール運営センター

ごあいさつ

比叡山より涼風おこり、洛北の樹木をなびかせる清秋の好時節がおとずれようとしています。本日は皆様ご来場下さり、誠に有り難うございます。

また、本演奏会にお力添えを頂く京都市交響楽団、第一線でご活躍の独唱陣の先生方、本演奏会をご後援くださいました京都市、京都市文化芸術協会並びに京都府合唱連盟各位に厚く御礼申し上げます。

今日ほど人間が如何に生きるべきかを問われている時代はないかもしれません。科学文明・物質文明の栄光の陰に、時として、心の平静と平衡を失い暗闇の淵にさまよう人間の姿を見聞する昨今、各個人が、隣人や自然との関わりの中で真の幸福を心から希求しなければならない時に至ったように思われます。

昭和の初めに、当合唱団の先輩たちが「古都京都の地に合唱音楽の素晴らしさを広げて行きたい」という思いから当団を創立し、以来次々と後輩がその初心を歌いつないで75年の時が過ぎました。激しい世相の変転を記す20世紀最後の年、新世紀まであと数ヶ月という節目の時に、宗教曲の名曲中の名曲といわれる、ヘンデルの「メサイア」を演奏することができますことは、大変意義深く感慨一入でございます。

皆様方と共に、より良き、より豊かな人生の実現を信じ、新たな息吹を共感できればと願いながら歌います。

どうぞ忌憚なきご叱声、ご教示をいただきますとともに、今後とも当団に暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年9月2日

京都混声合唱団



祝 辞

京都市長 **栞 幸 頼 兼**

西暦2000年という歴史の大きな節目の年に「京都混声合唱団創立75周年記念演奏会」が華やかに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

京都混声合唱団におかれましては、独立したアマチュア合唱団として、創立以来、多くのファンに支持され、その熱意あふれる精力的な演奏活動を通じて、京都の音楽文化の発展に大きく寄与してこられました。

とりわけ、数々の名高い宗教曲の演奏を中心とした京都市交響楽団や第一線で活躍されているソリストとの共演は、多くの市民を魅了してこられたところであり、合唱団員並びに関係者の皆様の音楽活動に対する御努力と御熱意に深く敬意を表します。

今年は、新たな世紀の幕開けに備える大切な年であり、これから迎える21世紀は芸術文化が「都市の格」を決める時代とまでいわれております。

京都市と致しましても、芸術文化の振興と発展を市政の重要な柱の一つとして位置付け、悠久の歴史に培われた輝かしい芸術文化を継承するとともに、新たな芸術文化を創造し、京都を世界中の都市に先駆けて、豊かな文化と芸術の息づく新しい千年の都とするため全力を挙げて取り組んでいるところであります。

このような中、京都のまちに深く根差し、歴史を重ねてこられました京都混声合唱団の創立75周年記念演奏会が開催されますことは、京都の芸術文化の振興にとりまして、誠に有意義であり、心強い限りでございます。

今後とも、京都の芸術文化の発展に、合唱団の皆様方の一層の御尽力、御協力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びに当たりまして、本日の公演の実り多き御成功と京都混声合唱団のますますの御発展を心から祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。

京都混声合唱団 創立75周年 記念演奏会に寄せて

京都市立芸術大学 学長 **西島 安則**

京都混声合唱団が創立75周年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。1926年（大正15年）に「合唱音楽の素晴らしさ」を響かせようと、混声合唱団をこの京都に創始されました先達の皆さまのご意志が、この激しい嵐の時代を超えて、今日に継承され、研かれ輝きを加えて、皆の心に響きつづけて来られましたことの尊さを改めて感じます。相次ぐ悲惨な戦争に人類の終末をも暗示させるような時にも、どこからともなく合唱の響きが湧き起こり、それが拡がるとき皆の目に涙と共に希望の光が輝きはじめます。この75年間には、そんな場面が何度もありました。いわゆる、近代化とは何だったのでしょ。科学も芸術も大きな変革を重ねて来ました。しかし、そうした時のうねりの中で私たちは、改めて、人の心の中の基底にある美の本質を、そして、生の尊さを感じつつあるのではないのでしょうか。合唱ということは一貫してそのことを示して来られたように思えます。

京都混声合唱団が、今後ますますご精進ご研鑽を積まれ、心に響くよろこびの共感の輪を広めて下さいますことを祈念致します。

お祝い

京都府合唱連盟理事長 浅井敬壹

創立75周年おめでとうございます。

つい先日、70周年のお祝いをさせていただいたと思っておりましたが、もう5年、いや、更に5年の歳月を積み重ねられ、なんと20世紀100年の4分の3に当たる間、常に合唱界のリーダーとして活躍されてこられたことに、ただただ敬服しております。

京都混声合唱団の歴史は、京都の合唱界の歴史でもあります。このメッセージの参考資料にと頂いた貴団の略年史を拝見しましても、そうそうたる方々のお名前が連なり、また、数多くの名曲を世にしらしめてくださったことが伺われます。中でも「終戦直後、街灯もともらず紙の入手も困難な中、毎夜メンバーの消息を訪ね回り、京都の街に合唱の声を響かせた」とあるくだりには心打つものがあり、今の京都の合唱界があり、私たちが楽しく歌えているのは、こうした先輩方のご苦勞のおかげと感謝しております。また現在の合唱連盟には、連盟の主要行事である京都府合唱祭にも最多連続出場されるなど積極的に取組みいただき、理事長として心から感謝いたします。

今回の演奏会でご披露されますヘンデルの「メサイア」は、京混さんの永い歴史にあっても初めての上演とのことですが、きっと期待を上回る素晴らしい演奏を聴かせていただけるものと楽しみにしております。75周年記念の演奏会のご盛会と、指揮者の蔵田先生をはじめ京混の皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



プログラム

G. F. Handel
オラトリオ **Messiah**

第1部 神の予言と救い主の降誕

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

第2部 キリストの受難と人類の贖罪

第3部 復活と永遠の生命

指 揮 蔵 田 裕 行

ソプラノ 日紫喜 恵 美

アルト 福 原 寿美枝

テノール 北 村 敏 則

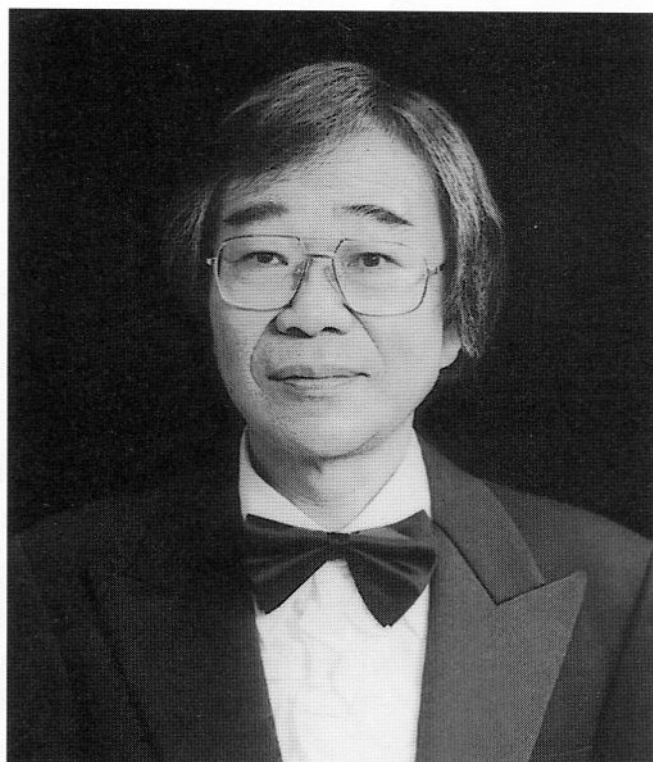
バ ス 灘 井 誠

合 唱 京都混声合唱団

管 弦 楽 京都市交響楽団

チェンバロ 河野まり子

オルガン 大代 恵



### 蔵田 裕行 (くらた ひろゆき) 常任指揮者

広島県呉市に生まれる。父蔵田春平よりヴァイオリンの手ほどきを受ける。高校時代、ヴァイオリンを平田正男、林龍作、声楽を林達次に師事。

1956年 京都市立音楽短期大学声楽科卒業。声楽を伊藤武雄、ピアノを元浜綏子、ヴァイオリンを鞍谷敦子に師事。

1961年 東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。声楽をN・レーヴェ、中山悌一、ピアノを水谷達夫、ヴィオラを井上武士、指揮を山田一雄、田中伸昭に師事。

1965年 東京芸術大学大学院音楽研究科独唱専攻修了。

ク オーストリア政府給費留学生としてウィーン国立音楽大学に留学。発声をW・シュタインブリュック、リート・オラトリオをE・ヴェルバ、オペラをJ・ヴィットに師事。

1967年 オペラ科卒業。1968年、リート・オラトリオ科卒業。最優秀賞受賞。1966年～1968年アン・デア・ウィーン劇場と契約。ウィーンアカデミー室内合唱団団員。1968年、帰国。

1987年 藤堂音楽褒賞受賞。

1991年 京都混声合唱団の常任指揮者に就任。

20数回に及ぶリサイタル・ジョイントリサイタルのほか、「第九」「メサイア」「マタイ受難曲」等数多くのオラトリオに出演。格調高い演奏には定評があるが、オペラでは「フィガロの結婚」「コジファン・トゥッテ」「魔笛」「ラ・ボエーム」「利口な女狐の物語」「こうもり」「タンホイザー」「真説カチカチ山」「昔噺人買太郎兵衛」等で、得難い性格俳優との評価も得ている。

京都市立芸術大学教授。関西二期会常任理事。日本シューベルト協会常任理事。日本フーゴ・ヴォルフ協会同人。



日紫喜 恵美 (ひしき えみ) ソプラノ



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業 同大学院修了。在学中、文化庁芸術家国内研修員、第1回大学院賞を受賞。1988年/日本モーツァルト音楽コンクール第1位、併せて洗足学園前田賞金賞受賞。1989年/日本音楽コンクール第2位。オーストリア政府給費留学生として、ザルツブルク、モーツァルトウムに留学。1990年/教会ミサやモーツァルト週間のソリストとして活躍。ロータリー奨学生としてミュンヘン国立音楽大学に留学。

1991年/バルセロナ国際コンクール、コロラトゥーラソプラノ賞受賞。1992年/第1回青山音楽賞受賞。仏、トゥルーズでリサイタル。1993年/ベルギー国際コンクール (Verviers) 第2位受賞。1994年/バンスタイン“キャンディード”日本語版初演クネゴンデ役。1995年/京都音楽賞(地域活動部門)受賞。CD「モーツァルトの世界」発売。1996年/京都市芸術新人賞受賞。1998年/ハンガリーでの“第九”プラハでの演奏会をはじめ、ドイツ、オーストリア、スイスなど7カ所で「リゴレット」を主演。'99年ソフィア音楽祭やロシア、サンクトペテルブルグでの演奏会出演など現地各紙にも好評を得、海外での活動も増えつつある。

オペラでは1987年「魔笛」「夜の女王」でデビュー後、「ドン・ジョバンニ」「リゴレット」「セヴィリアの理髪師」「ヘンゼルとグレーテル」「椿姫」「後宮からの逃走」「ファルスタッフ」「ナクソス島のアリアドネ」「愛の妙薬」などに主演。ミュージカル「Sound of music」主演。

その歌唱と演技は常に高い評価をうけている。また、NHK・FM、ABC・TVなどに出演。モーツァルトやハイドン、ブラームス、オルフなどの宗教曲のソリストとして、また関西のオーケストラをはじめ、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などと共演。華麗なテクニックと清純な歌声を持つコロラトゥーラソプラノとして注目されている。R・クノール、R・グリスト、R・ベッシュ、片山弘子、千田裕子、大西多恵、佐々木成子、蔵田裕行各氏に師事。関西二期会会員。相愛大学非常勤講師。

福原 寿美枝 (ふくはら すみえ) アルト



京都市出身。京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。卒業時に音楽学部賞受賞。同大学院音楽研究科修了。1998年友愛ドイツリート(歌曲)コンクール第2位。2度のジョイントコンサートをはじめ、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」同多数のカンタータ、ヘンデル「メサイア」「Dixit Dominus」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、ロッシェニ「小荘厳ミサ」、ドヴォルザーク「スタバート・マーテル」、ベートーヴェン「第九」等多数のアルトソロ、ブラームス「アルト・ラブソディー」、マラー「大地の歌」のソリストをつとめる。

オペラでは、ビゼー「カルメン」のタイトルロールをはじめ、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」ドテベッラ、「魔笛」待女Ⅲ、ヴェルディ「椿姫」アンニーナ、メノッティ「領事」母親、「アマールと三人の王様」母親、クルト・ワイル作曲オペラ付きバレエ「七つの大罪」アンナ役等に出演。

正木真理、曾我淑人、故永田綏子、三井ツヤ子各氏に師事。神戸市混声合唱団団員。神戸フォーレ協会会員。

## プロフィール

### 北村 敏則 (きたむら としのり) テノール



京都市立芸術大学声楽専攻卒業、同大学院修了後ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。第2回日本シューベルト協会(J.S.G.)国際歌曲コンクール第1位、聴衆審査特別賞受賞。第6回ボルツァーノ(北イタリア)歌曲コンクール第1位、アダ・ヴェルバ賞受賞。第1回青山音楽賞受賞。'94年姫路城世界文化遺産指定記念イベント、オペラ「お夏・清十郎」の清十郎役に抜擢されオペラデビューを果たし以後「魔笛」「こうもり」「ボエーム」「シンデレラ」等に出演し好評を博す。また、ドイツ、オーストリア、イタリアをはじめとする海外、日本各地で数多くのコンサートに出演。特に宗教曲には定評があり、ミサ曲やオラトリオのソリストとして、バッハ「ヨハネ受難曲」(H.リリンク指揮)や「マタイ受難曲」のエヴァンゲリストとして高い評価を得ている。今年7月には東京芸術劇場にてマタイ受難曲のエヴァンゲリストを務め、P.シュライヤーの再来と評された。佐々木成子、蔵田裕行各氏に師事。またリートを故E.ヴェルバ、宗教曲をK.エクヴィルツ各氏に師事。現在、京都市立芸術大学専任講師、平安女学院短期大学非常勤講師、日本シューベルト協会会員。

### 灘井 誠 (なだい まこと) バス



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。1977年から1980年までウィーン国立音楽大学に留学。ルイゼ・シャイト、エリック・ウェルバ、ワルター・モーアの各氏に師事。80年リート・オラトリオ科・発声科共に最優秀で卒業。留学中はORF(オーストリア国立放送局)に在籍し、各地を演奏旅行している。オペラ：74年関西二期会オペラ「マルタ」のプランケット役でデビュー以来「ラ・ボエーム」「フィガロの結婚」「椿姫」「リゴレット」等、その恵まれた資質を利して多彩な役を演唱してきた。リサイタルをはじめ「第9」やオラトリオのソリストとしても、何れも美声と豊かな表現力を高く評価されている。

'89からは、日本ではめずらしいア・カペラ六重唱団ジパング・コンサートの一員として、なつかしいわらべ唄から16、17世紀ヨーロッパの教会音楽まで、やさしく暖かいハーモニーで聴衆を魅了している。蔵田裕行、佐々木成子、住吉武各氏に師事。

関西二期会会員。日本シューベルト協会同人。京都市立芸術大学及び京都市立音楽高等学校非常勤講師。



河野 まり子 (こうの まりこ) チェンバロ



大阪音楽大学ピアノ専攻卒業。  
ドイツフライブルグ音楽大学チェンバロ専攻卒業。やまなみ木津川  
国際音楽祭、富士山麓国際音楽祭レギュラー出演者。大阪芸術大学  
講師。関西室内楽協会会員。チェンバロアカデミー主宰。

大代 恵 (おおしろ めぐみ) オルガン



京都市出身。幼少よりピアノを土肥みゆき氏に師事。エリザベト音  
楽大学パイプオルガン専攻卒業。オルガンをルチアノ・ベルタニョ  
リオ氏に師事。1976年渡独ザールランド音楽大学入学。オルガンを  
アンドレ・ルイ、チェンバロ・室内楽をM.ガリング、R.ポーク各氏  
に師事。1980年卒業。旧西ドイツ演奏家資格国家試験合格。現在広  
島文教女子大学講師。日本キリスト教団広島流川教会オルガニスト。  
日本オルガニスト協会会員。

## 音に託されたもの

—ヘンデルの「メサイア」、その歓喜を歌う—

牧 マリ子

「ヘンデルは次の冬は何もしないと言っていますが、私が彼のために作った聖書に基づく台本に曲をつけ、彼自身の利益のために演奏するよう説得できればと願っています。彼が才能と熟練のすべてを傾注し、題材が他のどれよりも卓越しているが如く、音楽もこれまでの彼のどの作品をも凌駕することを願っています。その題材とはメサイアです。」

本日ここに演奏される「メサイア」の台本作者ジェネズがその友人に宛てた手紙の中のこの一節は、ヘンデルがこの作品を書くに到った状況をも窺わせて興味深い。

1706年、イタリアに赴いた21歳の若きヘンデルを迎えたのは、約100年前にフィレンツェで誕生したオペラが、古代ギリシャ劇を模範として掲げられたその初期の理想—「言葉は音楽に優先する」—を遙か遠く離れ、カストラートの活躍に象徴される如き、音楽の肥大化を見せるイタリアオペラの姿であった。大向こうを唸らせる見事な歌唱技術を駆使してそこに繰り広げられる華麗なアリアの饗宴は、青年ヘンデルの心を強く捉え、劇音楽への彼の内なる情熱はここに一気に開花したのであった。

4年後、彼は初めてイギリスの土を踏む。当時イギリスの音楽界は、イギリス・バロックの大家パーセルの死後15年を経て、自国の音楽不在の時期にあり、まさにイタリア音楽一色の状況にあった。ここに颯爽と登場したのが、輝かしいイタリアオペラ「リナルド」を携えた若きヘンデルであった。熱烈な歓迎のもとに大成功を収めたこのロンドンデビュー作は、この地での彼の将来を約束し、続く数々のオペラの成功は、彼に充実の日々をもたらしたのであった。

しかしイギリスにおけるイタリアオペラ、これはあくまでも王室を中心とする上流社会のものであった。ヘンデル43歳の1728年、遂にイギリス人の筆になるイギリス固有のバラッド・オペラ「The Beggar's Opera」の出現を見る。これはロンドンの下層の人々を主人公とし、彼らが語る道徳への嘲笑、有名人への揶揄、政治家への痛烈な皮肉、更にはイタリアオペラの勿体ぶった大仰さへの痛快な風刺などによって、爆発的な人気のもとに当時台頭しつつあった市民階級の溜飲を下げ、このオペラは完全にイタリアオペラに勝利したのであった。

熱狂的な大衆の支持を期待できるイギリスオペラの前途は明るかった。しかしあくまでもイタリアオペラに固執し、イギリスオペラ支援者からの「協力要請」をも拒否したヘンデルは、自らの立場を苦しいものにし、彼への反撥と妨害も増大する一方であった。イタリアオペラ興行の不振と経済的困窮。しかしその心労がもたらした52歳の早春における病をも6週間で克服した彼は、間もなく英語のオラトリオという新たな領域へと踏み込んで行く。しかし清教徒的体質の強かった社会にあっては、聖書の言葉を劇場で歌うことの是非についての論議も持ち上り、思わしい成果も得られぬ状況であった。ここに到り、ロンドンに失望したヘンデルがイギリスを去る決心をさえたであろう56歳の年に、彼のために台本を作製し、ロンドンでの再度の作曲を促し励ましたのが、冒頭に引用した手紙の筆者、ジェネズであった。

古典に精通する博学の人であったこのヘンデルの友人は、台本作者としても際立つ能力を発揮した。旧約、新約の両聖書を網羅し、結合し、時に翻案を試みるジェネズの台本「メサイア」は、まさに彼の学識と信仰との見事な結実と言う他はないが、この台本に心動かされたヘンデルの作曲意欲に更に拍車をかけたのは、時宜を得たアイルランドからの招聘であった。慈善演奏会開催を目的にダブリン市からの招きを受けた彼は、敵の多いロンドンから離れた地での新しい聴衆に対する期待に勇気づけられ、即座にジェネズの新しい台本の作曲に着手した。ヘンデル56歳の夏であった。そして全53曲完成に要した日数は僅か24日であったと記録され、作曲中の彼について語り継がれてきたエピソードも、その没入のありさまを彷彿とさせて余りあるものである。

「神の予言と救い主の降誕」、「キリストの受難と人類の贖罪」、「復活と永遠の生命」、以上の3部から成るこの作品にあるのは、キリストを主人公とする彼の一生の叙事的描写ではない。その多くが旧約聖書を題材とする主人公を持つヘンデルのオラトリオの中であって、この「メサイア」には、そこに一人称で語る人物の登場を見ぬ点で際立つ。作品の表題であるメサイア即ち救い主キリストは、確かに全曲を貫く主題ではありながら、しかし彼が自らの口を通して語ることはない。キリスト自身の言葉も、それをジェネズの筆は三人称の語り口とする。合唱曲No.21がその一例である。「His yoke is easy,



彼の荷は軽い

his burthen is light」と歌う、これは本来マタイによる福音書11章30節に登場する、一人称「私の」で語られるキリスト自身の言葉であった。とすれば、「<sup>(キリスト)</sup>彼が私に負わされる荷は軽い」ことへの信頼を、まさに一人称の率直さを見せて晴れやかに歌う主人公、更に全曲にわたり、その誕生、受難、贖罪、復活というキリストの生涯の出来事を通して示された神の愛に対する感謝と賛美、そして抑え難い<sup>とろ</sup>歓喜を吐露するこの作品の主人公、それこそはまぎれもなくルター派の信仰を生きたヘンデルその人に他ならないのではないか。

ルネッサンスの頃、作曲家は歌詞の意味するものを音で描き始める。下行3度音型にカッコーの歌声を託し、一瞬の休符の後の長音符は溜め息の息遣いを模し、「天より降り」の語を、文字通り高音から下降する音階的順次進行が視覚化し、更には第3音を欠く和音の<sup>うつ</sup>虚ろな響きをもって死を表象した。このような「音画」は、その後「音型論」、「情緒学説」などの手法と共に時を重ねつつ、「音の言語」としての可能性を更に深めていった。

ヘンデルもこの「メサイア」における言葉の表象を、更には彼の内なるものを、バッハのそれにも比肩し得る豊かな音画、音語に託したのであった。合唱曲に数例をとれば、No.17の「highest」と歌うテノールの天を思わす高音、対する<sup>(地)</sup>「earth」に当てられたバスの低音は文字通りの音画であり、No.41が「Let us break their bonds asunder」と歌う下行4度音型の反復は、物を打ち砕く人の手の動きを模し、続く「cast away」は、<sup>(投げ捨てよう)</sup>投げられた物体が描く放物線を歌う。更に第2部冒頭合唱曲No.22が「Behold」と歌い始める、その下から上へのオクターヴ跳躍の2音は、まさに十字架を仰ぎ見ることが我々に促すが如くであり、またこの曲を終始するLargoの動きの<sup><広くと遅く></sup>の連続は、十字架の<sup>みたげ</sup>重さに三度倒れつつ磔刑の地ゴルゴタの丘への道を辿るキリストのよろめく足取りを印象深く刻む。更にNo.21の「easy」と「light」の語が浮遊する軽やかな音の群れ。キリストの愛に憩うなら人の負う荷はかくも軽いことを証するが如き、この心浮き立つ軽さこそは、この歌詞が由来するキリストの言葉「<sup>くびき</sup>疲れた者は私のもとで休ませてあげよう。私の軛は負い易く、私の荷は軽いからである。」へのヘンデルの<sup>むく</sup>無垢の信頼を雄弁に語るものであろう。

速度もまた、豊かな表情を見せて言語の表象を助ける。No.46が描いて見事なのは、<sup><重々しく></sup>重厚なGraveと、一方心弾む<sup><快速に></sup>Allegroとの対照に委ねられた死と生との対立であり、また、曲頭から「All we like sheep have gone astray」と、文字通り不安げに迷い揺れ動く旋律を足早に歌い進むNo.26が曲尾で見せるAdagioへの突然の変化。これこそは、<sup><静寂に遅く></sup>「And the Lord hath laid on him the iniquity of us all」と歌う言葉がヘンデルにもたらした痛悔の情に起因するものであることは、明白である。

更に心惹かれるのは、歌詞の表層には姿を見せぬ言葉の、ただヘンデルの信仰が描き得たと言える「音画」のことである。全曲中何度か姿を見せる、4音から成る十字架音型を冒頭に提示する合唱曲No.4。しかしこの旋律が歌うのは、惨めな磔刑の対極を思わせる「the glory of the Lord」であり、ここに十字架の姿は無い。とすればここに描かれる十字架像、これこそはまさに、「<sup>(主の栄光)</sup>主の栄光は、救い主キリストの十字架上の死をもって成就された」ことへのヘンデル自らの確信が、キリストによる贖罪への感謝と歓喜を歌うこの「メサイア」の冒頭合唱曲No.4に高らかに宣言されたものであるとは言えないであろうか。



しかし、何と言ってもこの作品全体を彩る圧倒的な色調、それは、軽快なテンポで舞う喜びのリズム型(♪♪♪♪、♪♪♪、♪♪♪、♪♪♪など)が紡ぎ出す湧き立つばかりの歓喜であろう。彼の数あるオラトリオの中、とりわけ合唱曲を多く持つこの「メサイア」においては、この歓喜の表現は、神の栄光を高らかに賛美する第2部の終曲No.44<ハレルヤ>を頂点とする見事な合唱曲の数々に、特に強く委ねられていることを思う。救い主の降誕に心躍らせるヘンデルの胸のときめきと、そして十字架によって成就された神の栄光に対する彼の心弾む賛美と歓喜の念は、如何なる言葉の持つ力をも超えて、ここに音に託されて在るのである。

京都混声合唱団には今日、ヘンデルが音に託した神の<sup>みわざ</sup>御業への感謝と、そして抑え難い歓喜の情に、250年余の時を超えて思いを馳せる喜びが与えられている。キリスト教をその精神的土壌として持たぬ我々の思いは、たとえそれに遙か遠く及ばずとも、ヘンデルの音楽の力に支えられていることを信じ、心を尽くしてその歓喜に思いを致したい。その時にこそ、ヘンデルの「メサイア」を演奏することのかけがえのない喜びは与えられるのではないかと、私は思う。

(団員、大阪音楽大学・華頂短期大学非常勤講師)

# 歌詞対訳

〈英詞：W.Shaw 編 (Novello 版) による〉

## PART ONE

〈邦詞：日本聖書協会発行 新共同訳聖書による〉

## 第1部

### No.1 Sinfonia (Overture)

### No.2 Recitative (Tenor)

Comfort ye, comfort ye my people, saith your God.  
Speak ye comfortably to Jerusalem, and cry unto her, that her warfare  
is accomplish'd, that her iniquity is pardon'd. The voice of him that  
crieth in the wilderness: Prepare ye the way of the Lord, make straight  
in the desert a highway for our God. (Isaiah 40,1-3)

### No.3 Air (Tenor)

Ev'ry valley shall be exalted, and ev'ry mountain and hill made low,  
the crooked straight, and the rough places plain. (Isaiah 40,4)

### No.4 Chorus

And the glory of the Lord shall be revealed, and all flesh shall see it  
together, for the mouth of the Lord hath spoken it. (Isaiah 40,5)

### No.5 Recitative (Bass)

Thus saith the Lord of hosts: Yet once, a little while, and I will shake  
the heav'ns, and the earth, the sea, and the dry land; and I will shake  
all nations, and the desire of all nations shall come; the Lord, whom ye  
seek, shall suddenly come to his temple, ev'n the messenger of the cov-  
enant, whom ye delight in; behold, he shall come, saith the Lord of  
hosts. (Haggai 2,6-7) (Malachi 3,1)

### No.6 Air (Alto)

But who may abide the day of his coming?  
And who shall stand when he appeareth?  
For he is like a refiner's fire. (Malachi 3,2)

### No.7 Chorus

And he shall purify the sons of Levi, that they may offer unto the Lord  
an offering in righteousness. (Malachi 3,3)

### No.8 Recitative (Alto)

Behold, a virgin shall conceive, and bear a son, and shall call his  
name Emmanuel, GOD WITH US. (Isaiah 7,14; Matthew 1,23)

### No.9 Air (Alto) and Chorus

O thou that tellest good tidings to Zion, get thee up into the high  
mountain, O thou that tellest good tidings to Jerusalem, lift up thy  
voice with strength, lift it up, be not afraid, say unto the cities of Judah:  
Behold your God! O thou that tellest good tidings to Zion, arise, shine  
for thy light is come, and the glory of the Lord is risen upon thee. Be-  
hold your God, the glory of the Lord is risen upon thee.  
(Isaiah 40,9 60,1)

No.10 省略

No.11 省略

### No.12 Chorus

For unto us a child is born, unto us a son is given, and the govern-  
ment shall be upon his shoulder, and his name shall be called: Wonderfull,  
Counsellr, The mighty God, The everlasting Father, The Prince of Peace.  
(Isaiah 9,6)

### No.1 シンフォニア (序曲)

### No.2 叙唱 (テノール)

慰めよ、わたしの民を慰めよと、あなたたちの神は言われる。  
エルサレムの心に語りかけ彼女に呼びかけよ、苦役の時は今  
や満ち、彼女の咎は償われた、と。呼びかけの声がある。主の  
ために、荒れ野に道を備え、わたしたちの神のために、荒れ地  
に広い道を通せ。(イザヤ書第40章1~3節)

### No.3 詠唱 (テノール)

谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は  
平らに、狭い道は広い谷となれ。(イザヤ書第40章4節)

### No.4 合唱

主の栄光がこうして現れるのを内なる者は共にこれを見る。  
主の口がこう宣言される。(イザヤ書第40章5節)

### No.5 叙唱 (バス)

まことに、万軍の主はこう言われる。 わたしは間もなくも  
う一度、天と地を、海と陸地を揺り動かす。諸国の民をことごとく  
揺り動かし、諸国のすべての民の財宝をもたらし、この  
神殿を栄光で満たす、と万軍の主は言われる。あなたたちが  
待望している主は突如、その聖地に来られる。あなたたちが  
喜びとしている契約の使者。  
見よ、彼が来る、と万軍の主は言われる。  
(ハガイ書第2章6~7節) (マラキ書第3章1節)

### No.6 詠唱 (アルト)

だが、彼の来る日に誰が身を支えうるか。彼が現れるとき、誰  
が耐えうるか。彼は精錬する者の火のようだ。  
(マラキ書第3章2節)

### No.7 合唱

彼はレビの子らを清める。彼らが主に<sup>ささげもの</sup>献物を正しくささげる  
者となるためである。(マラキ書第3章3節)

### No.8 叙唱 (アルト)

見よ、おとめがみごもって、男の子を産み、その名をインマヌ  
エルと呼ぶ。この名は、「神は我々と共におられる」という意  
味である。  
(イザヤ書7章14節; マタイによる福音書第1章23節)

### No.9 詠唱 (アルト) と合唱

高い山に登れ、良い知らせをシオンに伝える者よ。力を振るっ  
て声をあげよ、良い知らせをエルサレムに伝える者よ。声を  
あげよ、恐れるな、ユダの町々に告げよ  
見よ。あなたを照らす光は昇り、主の栄光はあなたの上に輝  
く。(イザヤ書第40章9節・第60章1節)

No.10 省略

No.11 省略

### No.12 合唱

ひとりのみどりごが、わたしたちのために生まれた。  
ひとりの男の子がわたしたちにあたえられた。  
権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神、  
永遠の父、平和の君」と唱えられる。(イザヤ書9章5節)

No.13 *Pifa (Pastoral symphony)*

No.14 *Recitative (Soprano)*

*There were shepherds abiding in the fields, keeping watch over their flock by night. And, lo, the angel of the Lord came upon them, and glory of the Lord shone round about them; and they were sore afraid.*  
(Luke 2,8-9)

No.15 *Recitative (Soprano)*

*And the angel said unto them: Fear not; for behold, I bring you good tidings of great joy, which shall be to all people.  
For unto you is born this day in the city of David, a Saviour, which is Christ the Lord.*  
(Luke 2,10-11)

No.16 *Recitative (Soprano)*

*And suddenly there was with the angel a multitude of the heav'nly host praising God, and saying,*  
(Luke 2,13)

No.17 *Chorus*

*Glory to God in the highest, and peace on earth, good will toward men.*  
(Luke 2,14)

No.18 *Air (Soprano)*

*Rejoice greatly, O daughter of Zion; shout, O daughter of Jerusalem: behold, thy King cometh unto thee. He is the righteous Saviour, and he shall speak peace unto the heathen.*  
(Zechariah 9,9-10)

No.19 省略

No.20 省略

No.21 *Chorus*

*His yoke is easy, his burthen is light.*  
(Matthew 11,30)

No.13 *パイファ (田園風シンフォニー)*

No.14 *叙唱 (ソプラノ)*

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。  
(ルカによる福音書第2章8～9節)

No.15 *叙唱 (ソプラノ)*

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである」  
(ルカによる福音書第2章10～11節)

No.16 *叙唱 (ソプラノ)*

すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。  
(ルカによる福音書第2章13節)

No.17 *合唱*

いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。  
(ルカによる福音書第2章14節)

No.18 *詠唱 (ソプラノ)*

娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、諸国の民に平和が告げられる。  
(ゼカリヤ書第9章9～10節)

No.19 省略

No.20 省略

No.21 *合唱*

主の轡は負いやすく、主の荷は軽いからである。  
(マタイによる福音書第11章30節)

PART TWO

第2部

No.22 *Chorus*

*Behold the Lamb of God, that taketh away the sin of the world.*  
(John 1,29)

No.23 *Air (Alto)*

*He was despised and rejected of men; a man of sorrows, and acquainted with grief.  
He gave his back to the smiters, and his cheeks to them that plucked off the hair. He hid not his face from shame and spitting.*  
(Isaiah 50, 6)

No.24 *Chorus*

*Surely he hath borne our griefs, and carried our sorrows; he was wounded for our transgressions, he was bruised for our iniquities: the chastisement of our peace was upon him.*  
(Isaiah 53,4-5)

No.25 *Chorus*

*And with his stripes we are healed.*  
(Isaiah 53,5)

No.26 *Chorus*

*All we like sheep have gone astray, we have turned ev'ry one to his own way; and the Lord hath laid on him the iniquity of us all.*  
(Isaiah 53,6)

No.22 *合唱*

見よ、世の罪を取り除く神の小羊を。  
(ヨハネによる福音書第1章29節)

No.23 *詠唱 (アルト)*

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、病を知っている。  
(イザヤ書第53章3節)  
彼は打とうとする者に背中をまかせ、ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。  
(イザヤ書第50章6節)

No.24 *合唱*

彼が担ったのはわたしたちの病、彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに。彼が刺し貫かれたのは、わたしたちの背きのためであり、彼が打ち砕かれたのは、わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによってわたしたちに平和が与えられた。  
(イザヤ書第53章4～5節)

No.25 *合唱*

彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。  
(イザヤ書第53章5節)

No.26 *合唱*

わたしたちは羊の群れ、道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて、主は彼に負わせられた。  
(イザヤ書第53章6節)



No.27 **Recitative (Tenor)**

All they that see him laugh him to scorn; they shout out their lips, and shake their heads, saying, (Psalm 22,7)

No.28 **Chorus**

He trusted in God that he would deliver: let him deliver him, if he delight in him. (Psalm 22,8)

No.29 **Recitative (Tenor)**

Thy rebuke hath broken his heart; he is full of heaviness, he looked for some to have pity on him, but there was no man, neither found he any to comfort him. (Psalm 69,21)

No.30 **Air (Tenor)**

Behold, and see if there be any sorrow like unto his sorrow. (Lamentations 1,12)

No.31 **Recitative (Tenor)**

He was cut off out of the land of the living: for the transgression of thy people was he stricken. (Isaiah 53,8)

No.32 **Air (Tenor)**

But thou didst not leave his soul in hell, nor didst thou suffer thy Holy One to see corruption. (Psalm 16,10)

No.33 **Chorus**

Lift up your heads, O ye gates; and be ye lift up, ye everlasting doors; and the King of glory shall come in. Who is this King of glory? The Lord strong and mighty in battle. (Psalm 24,7-10)

No.34 省略

No.35 省略

No.36 省略

No.37 **Chorus**

The Lord gave the word: great was the company of the preachers, (Psalm 68,11)

No.38 **Air (Soprano)**

How beautiful are the feet of them that preach the gospel of peace, and bring glad tidings of good things. (Romans 10,15)

No.39 **Chorus**

Their sound is gone out into all lands, and their words unto the end of the world. (Romans 10,18)

No.40 **Air (Bass)**

Why do the nations so furiously rage together, why do the people imagine a vain thing? The kings of the earth rise up, and the rulers take counsel together against the Lord, and his Anointed. (Psalm 2,1-2)

No.41 **Chorus**

Let us break their bonds asunder, and cast away their yokes from us. (Psalm 2,3)

No.42 **Recitative (Tenor)**

He that dwelleth in heaven shall laugh them to scorn: the Lord shall have them in derision. (Psalm 2,4)

No.27 **叙唱 (テノール)**

主を見る人は皆嘲笑い、唇を突き出し、頭を振って言います。(詩篇第22章8節)

No.28 **合唱**

主に頼んで救ってもらいがよい。主が愛しておられるなら助けてくださるだろう。(詩篇第22章9節)

No.29 **叙唱 (テノール)**

嘲りに心を打ち砕かれ、彼は無力になりました。望んでいた同情は得られず、慰めてくれる人も見いだせません。(詩篇第69章21節)

No.30 **詠唱 (テノール)**

目を留めよ、よく見よ。これほどの痛みがあったろうか。(哀歌第1章12節)

No.31 **叙唱 (テノール)**

主は民の背きのゆえに、神の手にかかり、命ある者の地から断たれた。(イザヤ書第53章8節)

No.32 **詠唱 (テノール)**

あなたは彼の魂を陰府に渡すことなく、あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず。(詩篇第16章10節)

No.33 **合唱**

城門よ、頭を上げよ。とこしえの門よ、身を起こせ。栄光に輝く王が来られる。栄光に輝く王とは誰か。強く雄々しい主、雄々しく戦われる主。栄光に輝く主とは誰か。万軍の主、主こそ栄光に輝く王。(詩篇第24章7～10節)

No.34 省略

No.35 省略

No.36 省略

No.37 **合唱**

主は約束をお与えになり、大勢の女たちが良い知らせを告げる。(詩篇第68章12節)

No.38 **詠唱 (ソプラノ)**

良い知らせを伝える者の足は、なんと美しいことか。(ローマ信徒への手紙第10章15節)

No.39 **合唱**

その声は全地に響き渡り、その言葉は世界の果てにまで及ぶ。(ローマ信徒への手紙第10章18節)

No.40 **詠唱 (バス)**

なにゆえに、国々は騒ぎ立ち、人々はむなしく声をあげるのか。なにゆえに、地上の王は構え、支配者は結束して主に逆らい、主の油注がれた方に逆らうのか。(詩篇第2章1～2節)

No.41 **合唱**

我らは、枷をはずし、縄を切って投げ捨てよう。(詩篇第2章3節)

No.42 **叙唱 (テノール)**

天を王座とする方は笑い、主は彼らを嘲る。(詩篇第2章4節)

No.43 *Air (Tenor)*

*Thou shalt break them with a rod of iron; thou shalt dash them in pieces like a potter's vessel.* (Psalm 2,9)

No.44 *Chorus*

*Hallelujah, for the Lord God omnipotent reigneth. The kingdom of this world is become the kingdom of our Lord and of his Christ, and he shall reign for ever and ever, Hallelujah! KING OF KINGS, AND LORD OF LORDS, and he shall reign for ever and ever, Hallelujah!* (Revelation 19,6; 11,15; 19,16)

No.43 詠 唱 (テノール)

お前は鉄の杖で彼らを打ち、陶工が器を砕くように砕く。(詩篇第2章9節)

No.44 合 唱

ハレルヤ、全能者であり、わたしたちの神である主が王となられた。この世の国は、我らの王と、そのメシアのものとなった。主は世々限りなく統治される。「王の王、主の主」ハレルヤ！(ヨハネの黙示録第19章6節、11章15節、19章16節)

PART THREE

第3部

No.45 *Air (Soprano)*

*I know that my redeemer liveth, and that he shall stand at the latter day upon the earth. And though worms destroy this body, yet in my flesh shall I see God. For now is Christ risen from the dead, the first fruits of them that sleep.* (Job 19,25-26) (1 Corinthians 15,20)

No.46 *Chorus*

*Since by man came death, by man came also the resurrection of the dead. For as in Adam all die, even so in Christ shall all be made alive.* (1 Corinthians 15,21-22)

No.47 *Recitative (Bass)*

*Behold, I tell you a mystery; We shall not all sleep, but we shall all be chang'd. In a moment, in the twinkling of an eye, at the last trumpet:* (1 Corinthians 15,51-52)

No.48 *Air (Bass)*

*The trumpet shall sound, and the dead shall be raised incorruptible, and we shall be changed. For this corruptible must put on incorruption, and this mortal must put on immortality.* (1 Corinthians 15,52-54)

No.49 省略

No.50 省略

No.51 省略

No.52 省略

No.53 *Chorus*

*Worthy is the Lamb that was slain, and hath redeemed us to God by his blood, to receive power, and riches, and wisdom, and strength, and honour, and glory, and blessing. Blessing, and honour, glory, and power, be unto him that sitteth upon the throne, and unto the Lamb, for ever and ever.* (Revelation 5,12-13)  
Amen

No.45 詠 唱 (ソプラノ)

わたしは知っている。わたしを贖う方は生きておられ、ついには塵の上に立たれるであろう。この皮膚が損なわれようとも、この身をもってわたしは神を仰ぎ見るであろう。(ヨブ記第19章25～26節)しかし実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となりました。(コリントの信徒への手紙1第15章20節)

No.46 合 唱

死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされるこよになるのです。(コリント信徒への手紙1第15章21～22節)

No.47 叙 唱 (バス)

わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今と異なる状態に変えられます。最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちです。(コリント信徒への手紙1第15章51～52節)

No.48 詠 唱 (バス)

ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになります。(コリント信徒への手紙1第15章52～54節)

No.49 省略

No.50 省略

No.51 省略

No.52 省略

No.53 合 唱

屠られた小羊は、力、富、知恵、威力、譽れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。玉座に座っておられる方と小羊とに、賛美、譽れ、栄光、そして権力が、世々限りなくありますように。(ヨハネの黙示録第5章12～13節)  
アーメン

# 京都混声合唱団75年略年史

★文中諸先生、諸先輩の敬称は略させていただきました  
☆文中作曲者名、曲名などは当時のプログラム通り記しております

## 1926年（大正15年、昭和元年）～1936年（昭和11年）

京都在住の同声会（東京音楽学校・現東京芸術大学音楽学部同窓会）の方々の間に「関西に合唱音楽の素晴らしさ」を響かせたいと、混声合唱団結成の機運が起こり、稲畑登美子（同校第一回卒業、京都商工会議所会頭稲畑勝太郎氏夫人）、柳兼子（同志社大学教授柳宗悦氏夫人）、上村いさを（けい）、竹内禎子、加藤千恵、吉田恒三、近藤義次など、その後のわが国音楽界あるいは教育界を支えた方々を中心に結成され、それに合唱音楽を愛する社会人、学生などが加わって活動がはじまりました。

第一回の「発表会」は、同志社公会堂で1927年11月19日に開催され、森本芳雄の指揮、船坂すま子のピアノ伴奏により、モーツァルト「第十二弥撒から・主よ御恵みを」ほかメンデルスゾーン、シューベルト、ブラームスなどの合唱曲が演奏されました。この期間には、京都音楽協会後援による定期演奏会、大阪朝日新聞社会事業団主催の「合唱の夕（大阪中之島公会堂）」、NHK京都放送局ラジオなどに出演しています。

指揮者には、前述森本芳雄のほかエフゲン・クレーン、土方（西邨）辰三郎などの名がみられます。



第3回発表会 1929年（昭和4年）2月23日

会場：京都市公会堂

指揮：エフゲン・クレーン

プログラムのソリストに柳兼子、加藤榮（千恵）、上村いさを（けい）、竹内禎子、浦川絹子、上家熙、近藤義次などの名前があります。

## 1937年（昭和12年）～1944年（昭和19年）

前年に起こった「2.26事件」を契機として、わが国の政治体制は一段と軍事色を強めていきますが、音楽をはじめとして文化活動の軽視や締めつけも厳しさを加えてきました。こうした中で、「京都の全音楽家を網羅して京都混声合唱団と京都音楽連盟コーラス団が合同して（京都合唱団）を結成する（当時の朝日新聞記事による）」ことになりました。この頃の演奏会では、エフゲン・クレーン、近藤義次、森本芳雄、竹内平吉、吉田恒三が指揮をしています。

アジアでは日本と中国、ヨーロッパではドイツとロシアとの戦火は、1941年から42年にかけて全世界にまたがる、いわゆる「第二次世界大戦」へと拡大し、欧米の音楽は敵国に組みするものとして排斥されていきました。

合唱を愛し続けるメンバー達は、いろいろな方法で合唱活動の継続を図りました。1943年「合唱報国団」という名前で、同志社栄光館で演奏会を開きました。曲目は、北原白秋詩・信時潔作曲「海道東征」、ベートーヴェン「荘厳弥撒・ニ長調・作品123」、指揮は朝比奈隆、パイプオルガン中瀬古和、ソリストは加藤千恵、加藤貞、木村四郎、藤堂顕一郎でした。

戦局は、ますます厳しくなり、メンバーも日を追って少なくなり、自然休団の止むなきに至りました。

## 1945年（昭和20年）～1951年（昭和26年）

1945年8月に終戦を迎えましたが、町には街灯も灯らず、市電も間遠に動く程度で、楽譜を印刷する紙の入手さえ困難でした。こうした混沌の中で、メンバーの広瀬茂は、勤務の後毎夜のように自転車に乗ってメンバーの消息を訪ね回り、一人またひとりと呼びかけて人数を集め、その年の暮れには、水谷央の指揮で久々の合唱を京都の街に響かせました。

翌1946年には、「第一回関西合唱コンクール」が大阪朝日会館で開催され、65名のメンバーが川端義雄の指揮で出演し、混声の部で優勝しました。



関西の合唱界も、いち早く立ち直りをみせ、当団も独自の演奏会のほかに、関西合唱連盟、京都音楽協会、京都合唱連盟（現京都府合唱連盟の前身）の各種催しにも積極的に出演しました。前述水谷、川端のほか上村けい、藤堂顕一郎が指揮をしています。

#### 1952年（昭和27年）～1969年（昭和44年）

1951年2月から再び指揮者として復帰した森本芳雄が同年秋に急逝し、後任に青山政雄を指揮者に迎えました。

戦後の経済復興も急速に回復を示し、合唱界の活動も盛んになってきました。

ドヴォルザーク「スタバトマーテル」、ピゼッティ「レクイエム」、モーツァルト「ミサ ハ短調」、フォーレ「レクイエム」、ヴェルディ「スタバトマーテル」などの宗教曲のほか、清水脩「笛吹き八郎が亀を助けた話」「鼻長き僧の話」、松本民三「切支丹物語」、大中恩「月と良寛」など邦人作品も意欲的にとりあげた合唱活動を行いました。

1963年には、京都楽壇の育ての親ともいえる稲畑登美子の〈京都文化団体懇話会賞受賞記念音楽会（京都音楽協会主催）〉に出演し、同女史へ贈る曲「交声曲 春の日のファンタジー」（作詞・花法師＝近藤義次、作曲・網代栄三）を演奏しました。

この年、青山政雄が京都の地を離れることとなり、暫らくメンバーによる指導体制がとられていましたが、1966年からは、旧メンバーでもあった伊吹新一が指揮者に迎えられました。

1964年には、京都府合唱連盟主催の「第一回合唱祭」が開かれこれに参加出演しました。以来今日まで毎年の合唱祭には欠かさず参加しており、この間に2回の連盟大賞（藤堂賞）を頂きました。

#### 1970年（昭和45年）～1990年（平成2年）

1970年、京都に戻っていた青山政雄を再び指揮者に迎えることになりました。

青山の採譜による「合唱曲 秋田地方ほかのわらべうたと民謡」、団伊玖磨「筑後川」、助川敏弥「白い世界」など邦人曲にも積極的に取り組みました。

1975年には、団創立50周年記念演奏会を開催いたしました。

この演奏会に出演して頂いた京都市交響楽団には、その後も引き続いて当団の定期演奏会に協力頂いております。また、同楽団の演奏会の合唱パートとして出演する機会をしばしば頂いてきました。

1982年には、藤堂顕一郎褒賞基金からの受賞（第1回・団体）の栄に浴しました。

1985年に、60周年記念演奏会を開催すると共に、メンバーの金子清明の編纂による「京都混声合唱団六十年史」を上製本として刊行しました。

#### 1991年（平成3年）～

1991年には、蔵田裕行を常任指揮者に迎え、1992年にハイドン「天地創造」を上演しました。

1995年は、創立70周年に当たりましたが、京都コンサートホールの完成に合わせて、翌1996年に記念演奏会を開催し、ハイドン「四季」を上演しました。

1975年の創立50周年記念演奏会以降の主要演奏会記録は、別掲のとおりであります。これら宗教曲大曲だけではなく、邦人オリジナルの曲をはじめ関西での初演の曲も多く上演し、また国内他府県の合唱団との交歓演奏会はもとより、海外アマチュア合唱団との「日本の歴史的都市・京都」におけるジョイント・コンサートを開催するなど意欲的かつ国際的な活動も行ってきました。

わが国はもとより、欧米においてさえそれほど多くはない75年という歴史を有するアマチュア合唱団「京混」の歩みの中で、歌い巣立っていった団員は数知れませんが、沢山の人がそれぞれの立場で、各所において合唱指導者、合唱指揮者として活躍しておられます。

こうした合唱活動に対して、1996年には、京都新聞五大賞の一つである社会賞を受賞いたしました。

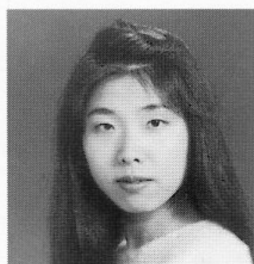
# ◆京都混声合唱団主要演奏記録

1975(昭50)~1999(平11)

管弦楽・京都市交響楽団

| 年月日                    | 演奏会                           | 曲 目                                                            | 指揮者              | 独 唱 者                                    | 会 場                       |
|------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------|---------------------------|
| 1975(昭50)<br>10・10     | 50周年記念演奏会                     | 青山政雄 〈祝典歌〉<br>モーツァルト 〈レクイエム〉<br>青木 望 編曲〈ロシア民謡〉                 | 青山政雄             | 田中千恵子、森池日佐子<br>山本 頌二、田原祥一郎<br>木川田 誠      | 京都会館第1ホール                 |
| 1976(昭51)<br>9・14      | 京響演奏会                         | 京響創立20周年記念演奏会<br>「京響フェスティバル」                                   | 森 正              |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 10・20                  | 定期演奏会                         | フォーレ 〈レクイエム〉<br>プーランク 〈モテット〉<br>團 伊玖磨 〈海上の道〉<br>青木 望 編曲〈シャンソン〉 | 青山政雄             | 田中千恵子、山本 頌二<br>阪田誠康(p)                   | 京都会館第1ホール                 |
| 1977(昭52)<br>12・8      | 京響演奏会                         | ベートーヴェン<br>〈第九・合唱付〉                                            | 小泉和裕             |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 1978(昭53)<br>5・7       | 定期演奏会                         | パ ッ ハ 〈マタイ受難曲〉                                                 | 青山政雄             | 常森 寿子、鈴木 寛一<br>辻 有子、田島 好一<br>山本 頌二       | 京都会館第1ホール                 |
| 1979(昭54)<br>2・28      | 京響演奏会                         | フォーレ 〈レクイエム〉                                                   | 山田一雄             |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 1980(昭55)<br>5・28      | 定期演奏会                         | 青山政雄〈鑑真和上東征賦〉<br>デュルフレ 〈レクイエム〉<br>青木 望 編曲〈ラテン〉                 | 青山政雄             | 志村 年子、久岡 昇<br>山本 頌二                      | 京都会館第1ホール                 |
| 1981(昭56)<br>11・9      | 定期演奏会                         | ハイドン<br>〈オラトリオ 四季〉                                             | 青山政雄             | 常森 寿子、鈴木 寛一<br>岡村 喬生                     | 京都会館第1ホール                 |
| 11・29                  | 宮下靖子バレエ団公演                    | チャイコフスキー<br>〈くるみ割り人形〉                                          | 堤 俊作             |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 1982(昭57)<br>6・11      | NHK                           | 京都放送局開局50周年<br>テレビ「音楽の広場」                                      | 芥川也寸志            |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 6・28                   | 京響演奏会                         | ラヴェル<br>〈ダフニスとクロエ〉                                             | 佐藤功太郎            |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 11・10                  | 定期演奏会                         | モーツァルト 〈レクイエム〉<br>團 伊玖磨 〈筑後川〉<br>ブラームス 〈運命の歌〉                  | フルヴィオ・<br>ヴェルニツィ | 田中千恵子、森池日佐子<br>佐藤 時彦、蔵田 裕行               | 京都会館第1ホール                 |
| 1983(昭58)<br>11・14     | 京響演奏会                         | ヴェルディ 〈レクイエム〉                                                  | フルヴィオ・<br>ヴェルニツィ |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 1984(昭59)<br>6・30      | 定期演奏会                         | ベートーヴェン<br>〈荘厳ミサ曲〉                                             | 青山政雄             | 秋山恵美子、伊原 直子<br>鈴木 寛一、岡村 喬生               | 京都会館第1ホール                 |
| 8・27                   | 真夏の夜の第九                       | ベートーヴェン<br>〈第九・合唱付〉                                            | 渡辺 暁雄            |                                          | ザ・シンフォニーホール               |
| 12・25<br>27            | 京響演奏会                         | ベートーヴェン<br>〈第九・合唱付〉                                            | 小林研一郎            |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 1985(昭60)<br>11・7      | 60周年記念演奏会                     | メンデルスゾーン<br>〈オラトリオ エリア〉                                        | 小泉和裕             | 常森 寿子、西 明美<br>鈴木 寛一、岡村 喬生                | 京都会館第1ホール                 |
| 1988(昭63)<br>4・25      | 定期演奏会                         | パ ッ ハ 〈マタイ受難曲〉                                                 | 青山政雄             | 伊藤 叔、伊原 直子<br>鈴木 寛一、木村 俊光<br>牧川 修一、瀧脇 和範 | 京都会館第1ホール                 |
| 1989(平元)<br>10・29      | 定期演奏会                         | グ ノ ー<br>〈聖チェチリアのための荘厳ミサ曲〉他<br>〔モーツァルト室内管弦楽団〕                  | 青山政雄             | 三井ツキ子、手島 孝教<br>蔵田 裕行                     | 八幡市文化センター大ホール             |
| 1990(平2)<br>11・15      | 京響演奏会                         | マーラー<br>〈交響曲第2番 復活〉                                            | 井上道義             |                                          | 京都会館第1ホール                 |
| 1992(平4)<br>7・2        | 定期演奏会                         | ハイドン<br>〈オラトリオ 天地創造〉                                           | 蔵田裕行             | 常森 寿子、北村 敏明<br>木川田 澄、日蔡喜恵美<br>宇野 徹哉      | 京都会館第1ホール                 |
| 1994(平6)<br>5・11       | 定期演奏会                         | ドヴォルザーク<br>〈レクイエム〉                                             | 蔵田裕行             | 安保 淑子、三井ツキ子<br>若本 明志、宇野 徹哉               | 京都会館第1ホール                 |
| 1996(平8)<br>4・29       | 70周年記念演奏会                     | ハイドン<br>〈オラトリオ 四季〉                                             | 蔵田裕行             | 白川 深雪、北村 敏明<br>宇野 徹哉                     | 京都コンサートホール                |
| 1997(平9)<br>7・25<br>27 | 第2回<br>日本スイス友好コンサート<br>(賛助出演) | ヴェルディ<br>〈レクイエム〉                                               | 阪 哲朗             | Judith Graf、Marion Amman<br>佐野 成宏、瀬井 誠   | ザ・シンフォニーホール<br>京都コンサートホール |
| 1998(平10)<br>5・15      | 定期演奏会                         | ロッシーニ<br>〈小ミサソレムニス〉                                            | 蔵田裕行             | 安保 淑子、三井ツキ子<br>木川田 澄、小餅谷哲男               | 京都コンサートホール                |

## 合唱出演者



### ◆ピアニスト宮北昌子 (みやきた しょうこ)

京都市立堀川高校音楽科を経て、1986年、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ピアノを山田淳子、岩淵洋子、マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。

1990年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院夏季国際音楽アカデミーに参加、セルジオ・ベルティカローリ教授の講座を修了。アカデミーコンサートに出演。

# 団員募集

## 京都混声合唱団

幾多の先輩方から合唱の素晴らしさを歌い継いで75年。幅広い年齢層と様々な職業の団員たちが、宗教曲大曲を中心にした独自の演奏活動を続けています。今回はMaurice Durufléの〈レクイエム〉他を予定しています。また、来年には、団内親睦を兼ねた国内演奏旅行を計画！！ぜひ一度練習会場をのぞいてみてください。

練習日時：毎週金曜日 午後7：00～9：15  
練習会場：京都府薬剤師会館2階ホール（東山五条上る東側）  
費用：入団費 1000円  
月額団費 大学生1500円・一般3000円  
常任指揮者：蔵田裕行（京都芸術大学教授）  
ピアニスト：宮北昌子

連絡先：桂 京造 電話（075）211-3064  
Home Page：<http://hal.seikyoku.ne.jp/home/ymamt/kyoukon.html>



# 京都市交響楽団

Kyoto Symphony Orchestra

## ～最近の活動から～

1997年5月に、創立40周年記念を締めくくる特別事業として井上道義指揮のもとヨーロッパ公演を行い、ブラハの春音楽祭、ギリシャのテッサロニキでのEUジャパン・フェスト、その他オーストリアのウィーン、ポーランドのクラクフ、クロアチアのザグレブでブラームス、ショスタコーヴィチ、武満の作品を中心に全5公演を実施し、各国で高い評価を得た。

1998年1月の新常任指揮者に予定されていたウーヴェ・ムントを招聘したブルックナー：交響曲第8番の好演は各界に鮮烈な印象を与えた。

同年4月からは、ウーヴェ・ムントを第10代常任指揮者に迎え新しい時代に入った。

ムント初年度は得意とするドイツ古典音楽を中心に引き上げその堅実な音楽を評価された。2年目の1999年度は、バルトーク・ストラヴィンスキー・シベリウス等近・現代曲にも挑む。

特筆すべき演奏会としては、1999年6月6日95歳で逝った世界最高齢の指揮者・巨匠イリヤ・ムーシント、1998年10月、1999年4月の2度にわたり演奏する機会を得たが、特に4月のコンサートは彼の生涯の最後の指揮となり話題となった。尚、この公演はNHK・TVで放映された。

その他、京都市ならではのコミュニティーな演奏会として、広く市民に親しまれてきた「巡回コンサート」を発展的に継承し、1998年度からは全会場を設備の整ったホールに移し、内容を充実させた「ふれあいコンサート」が生まれた。



宝石 時計 メガネ 特選雑貨



# 寺 内

寺内北店 京都・四条河原町西入ル北側 ☎211-4025  
寺内ビル 京都・四条河原町西入ル南側 ☎211-3511  
ポルタ店 京都駅前地下街 ☎343-5077  
東京店 中央区八丁堀1-3-9坂根八重洲ビル ☎(03)3551-3201



損害保険も生命保険も  
**富士火災・富士生命**  
なら安心

**富士火災海上保険株式会社**

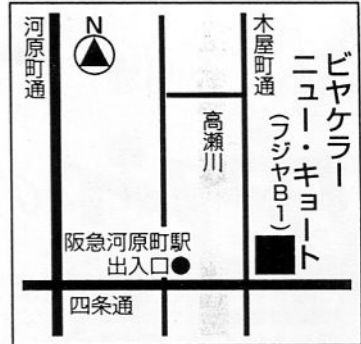
京都支店営業第二課

〒604-8144 京都市中京区錦小路烏丸東入ル元法然寺町700(京都フクトクビル8F)  
TEL. 075(231)6212 FAX 075(256)1265

ビアホール

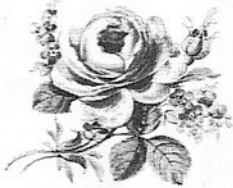
# HB ビヤ・ニュー・キョート

京都市下京区木屋町通四条上ル  
☎075-221-2656



(定休日 木曜日)

レディースサービス(月・火・水曜日は女性の方ドリンク半額)



## 心ゆたかに夢のひととき

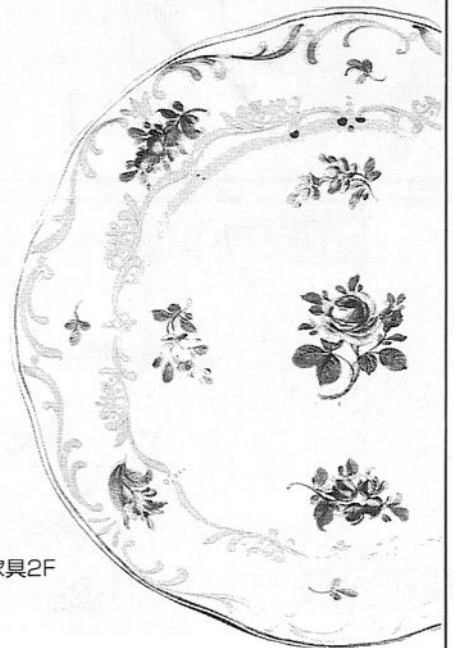
ヨーロッパ磁器上絵付教室 ロザンジュ・ミヤザキ

2回でかわいい小花の小皿をお作りいただける  
体験コースもございます。

くわしくはお気軽にお問い合わせくださいませ。

 **Losange**  
ロザンジュ・ミヤザキ

T604-0805 京都市中京区夷川通堺町西入ル 宮崎家具2F  
TEL.075-231-6310  
FAX.075-231-6320



男声合唱団

## Des Eleisons

第1回発表会

指揮 大谷圭介

2000年10月21日(土)

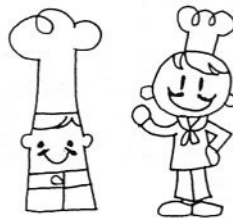
北文化会館

団員募集中

※女性の方見学大歓迎!

連絡先: 板谷 075-255-7556 (FAX兼)

お茶漬けのある洋食屋さん



ピストロ  
**喜遊里**

京都市中京区木屋町四条上ル  
高瀬川畔 大西ビル1F

TEL. 075 - 256 - 4576



合唱界に貢献する

# カワイの楽譜

★団体一括購入のご用命は

カワイ京都ピアノセンター

〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名47 ☎075-682-5600

京都産業大学 混声合唱団ニポポ

## 第27回 定期演奏会

2000年12月17日(日)

開場 14:30 開演 15:00  
八幡市文化センター 大ホール 入場料 800円

連絡先 夏見 久嗣 075(493)5629 下宿  
ochiyo@kyoto-su.ac.jp (岸本)



# 亀末廣

京都・姉小路烏丸東入  
電話 221-5110

●学術集会 プログラム・抄録集・プロシーディング制作

## 進行印刷出版株式会社

京都市左京区一乗寺東閉川原町 19  
TEL 075-711-5623 FAX 075-722-9062  
E-mail: pshinko@pastel.ocn.ne.jp

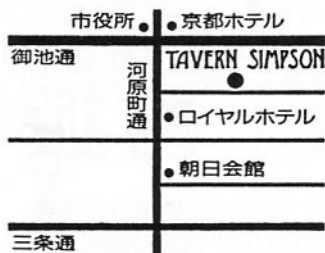
## 美容室アービル



# Avil

本店 京阪三条南口 TEL 551-0155  
北山店 松ヶ崎アビカルイン京都3F 702-4595

## TAVERN SIMPSON



〒604-8006 中京区河原町御池下ル一筋目東入  
PHONE 075-221-2760

# 割烹 蛸 八

TEL(231)2995

京都市中京区蛸薬師通新京極西入東側町498番地



♪ **社交ダンス** ♪  
 ダンスも 音楽表現  
 音の広がりを体で  
 感じませんか？

**カタギ・ダンス・アカデミー**  
 TEL. 075 (361) 1677 東急ホテル南隣  
 ヒロセビル3F

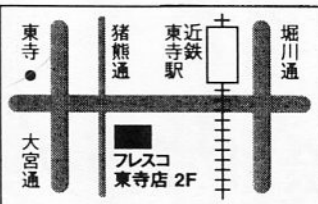
舞鶴港直送鮮魚・地鳥備長炭焼  
 地酒百選・焼酎百選  
 合唱愛好者の集う店

**海**  
 赤い海

Zip.604-0924  
 Tel.075-212-5558  
 京都市中京区河原町二条下る佐川ビルB1

 **TRATTORIA featuring with Wine**  
**RED PEPPER**  
 レッド・ペパー

Heart Friend Co.



〒601-8437 京都市南区西九条比永城町36-1 フレスコ東寺店2F  
 TEL.075-661-7002 FAX.075-661-9667

 **藤本口腔外科矯正歯科**

〒604 京都市中京区東洞院通四条上ル西入ル  
 Phone. 075-222-2720  
 FAX. 075-222-2720

 **京味処 錦炉庵**

京・御幸町錦上ル TEL(221)2882  
 京・御幸町錦上ル TEL(231)8783

**カステロ (イタリアンバイキング)**  
 河原町通三条下ルサンホテル京都 2F  
 TEL 075-253-3086  
 ランチ 900円(土日祝1200円)  
 ディナー1500円

 **カサ73**  
 レストランバー

河原町通御池下ル京都ロイヤルホテル北側福三ビル3F  
 TEL 075-254-6755  
 ランチ 800円  
 ディナー2500円より

— お食事・パーティ&スナック —

**ファミリールーム ヒロ**

中京区西木屋町蛸薬師上ル 第二観光ビルB1F  
 TEL (075) 255-2656



●営業時間  
 午後5時～午前1時まで

街のオアシス

## カフェテラス オリーブ山

栄養バランスを考えた日替ランチ。  
自家製カレー。挽きたてのコーヒー。  
コンサートや英会話教室、手芸教室  
等も企画しております

11:00am~8:00pm (日祝定休)

ところ：京都市北区小山北大野町16  
(北大路新町交差点を北へ60m西側)

075 (493) 3792



## 悠心

(定休日 火曜日)

北山キャロット 〒603-8004 京都市北区上賀茂畔勝町93

☎075-701-8806

Braserrie悠心 〒602-8119 京都市上京区下長者町通油小路西入

御所西ロイヤルプラザ1F

☎075-414-8855

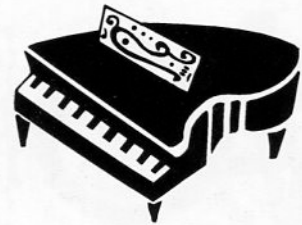
## くすりと健康の御相談は

### 株式会社 チカタ薬局

京都市中京区三条大宮東入 TEL.841-2048

ラウンジ

## うらつ地



♪ ピアノ伴奏で歌えるラウンジです

♪ どんな曲でもご注文下さい

京・祇園富永町通縄手東入 フェニックスビル3F

電話 (075) 551-3005

京の甘味処

茶寮

月ヶ瀬

本店 中京区河原町四条上ル二筋目東 TEL.(221) 4 1 0 4  
高島屋店 高島屋京都店 五階茶寮

SAPPORO BEER RESTAURANT

OSAKA ムンヘン

京都大使館

ビールと唐揚の  
本格派  
ビアレストラン

〒604-8033  
京都市中京区河原町通蛸薬師下ル  
プチモンドヨッチャンビル6F

Phone 075-256-1511

■営業時間/  
月～金曜日 12:00～22:30 (22:00 オーダーストップ)  
土・日・祝日 11:30～22:30 (22:00 オーダーストップ)

上京区今出川通河原町西入北側 桂ビル

電話

診療時間

診療日

月 火 水 木 金 土

眼科 千原医院 252-1535 午前 9:30～12:30 〇〇〇休〇〇〇  
午後 5:00～ 7:00 休〇〇休〇休

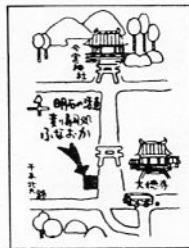
皮膚科 堀江医院 252-0766 午前 9:30～12:30 〇〇〇休〇〇〇  
午後 4:30～ 6:30 〇〇〇休〇休

耳鼻咽喉科 大川医院 223-1911 午前 9:30～12:00 〇〇〇〇〇〇〇  
気管食道科 午後 5:00～ 7:30 〇〇〇休〇休

寿司・割烹  
変り寿司処  
ふなおか



京・大徳寺西側今宮神社鳥居前  
☎(491)8866  
《2時まで営業》



お誂え服

丸治洋服店

京・中京区寺町通三条上ル東側  
TEL & FAX (075) 2 3 1 - 4 7 9 0 番

湯の花  
すいせん



〒621-0034 京都府亀岡市湯の花温泉郷  
TEL. 0771-22-7575  
FAX. 0771-22-7577



# シリコンバレーのDNA。



©1999 Hewlett-Packard Company

アディソン通り367番地。発明家たちがつくったHPという会社は、  
現在、シリコンバレー発祥の地として史跡に指定されているこの小さなガレージで産声を上げました。  
ほんの少しの簡単な工具と"発明"へのありあまる情熱。二人の発明家がここで事業を起こしたのです。  
このガレージから生まれたのは1つの会社だけではありませんでした。そこから生まれた発明家の精神は、その後、  
何百という会社を世に送り出し、シリコンバレーをつくりだしたのです。  
そして今、私たちHPはその原点であるこのガレージの精神に帰ろうとしています。  
私たちは、会社を始めた頃のように、もう一度、踏みだします。ご期待ください。

[www.jpn.hp.com](http://www.jpn.hp.com)

日本ヒューレット・パッカード株式会社 〒168-8585 東京都杉並区高井戸東3-29-21



invent



うすくち

ほんのり

四季のいろ

城下町の面影を今も残す

うすくちのふるさと、播州龍野。

風の詩を子守歌に

ゆつくりと歳月に磨かれた

ヒガシマルのうすくちは

やさしい自然のおいしさ――

春夏秋冬それぞれの味わいを

色美しく引き立てます。



うすくち醤油発祥の地：兵庫県龍野市  
ヒガシマル醤油株式会社





藝術文化振興基金助成事業